

TSC 定例会報告

- 1 会場 都立小石川中等教育学校
- 2 参加者 山口先生、上村先生、清先生、大久保
- 3 内容

(1) 日常の授業実践から

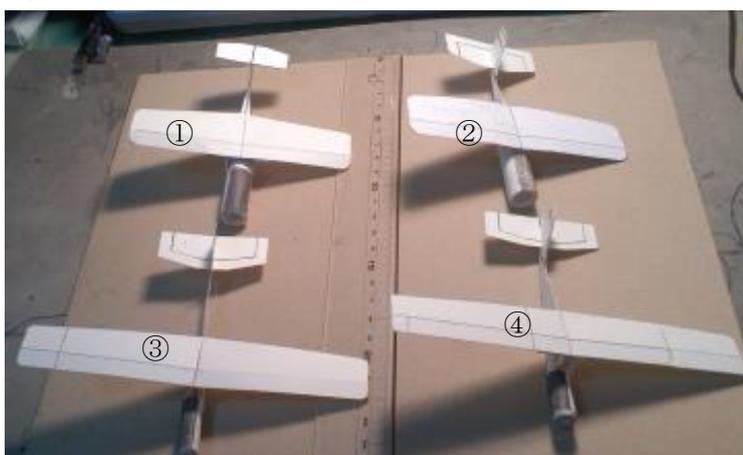
・・・小石川中等教育学校 上村 先生

授業に使っている各種ワークシート、ノート点検表、ルーブリック自己点検表などを発表。写真は、ルーブリック自己点検表。「身につけたい力」を「目標設定力」「計画力」「実践力」「考察力」「省察力(振り返って考える力)」として、具体的に生徒に示して、自己点検できるようになっている。写真の右側に評価欄があり、生徒が記入する。「身につけたい力」は、同校の教員研修の中で提案された表現。生徒がやるべきことが明確になっている。また、他の教科でも同じようにできると良いとの意見がでました。

(2) 小型紙製グライダーの小研究

・・・墨田区立桜堤中学校 大久保

文京区の小学生向き科学教室のイベントで作ったグライダー①を改良した。水平尾翼を大きくすると安定性が良くなる②、主翼の面積は変えずに細長くした③、より軽量化した④。③、④により、ゆっくり飛んで滞空時間が大きくなる。実際の飛行機では、高速のものは、主翼の幅が狭く、低速のものほど主翼が幅広く細長いことと一致する。小型なのでつくりやすく丈夫。写真は上から下までが 25cm。



(3) その他

ア 最近の TSC は参加者の高年齢化が進んでいる。若手のつもりの大久保も 52 歳になってしまった。

イ 12 月の定例会は 26 日(月)文京学院午後 3 時から。同日忘年会午後 6 時から「千石中華」豪華中華料理が 2000 円で飲み放題言いたい放題。常勤でない方は 1000 円

ルーブリック自己評価表

身につけたい力	高いレベル	実力がある
	A	B
目標設定力	目的意識を明確にもち、実験プリントに自分で工夫した記録を行い、主体的に課題を解決しようとしている。	教員の指示があったことについて記録し、課題を解決しようとしている。
計画力	4つの有機化合物の分離を完了させるための実験方法を考え、改善しながらより良い方法を考え実験をすることができた。	自ら考えて実験に取り組み、時間内に片付けまで終わらせることができる。
実践力	自分でより良い方法を選択して実験に取り組み、具体的な記録がなされている。	教員の指示で探究活動の記録がなされている。
考察力	4つの有機化合物の分離の原理を理解し、起こった化学変化について自ら考えて科学的に解釈し記録がなされている。	4つの有機化合物の分離の原理を理解し、起こった化学変化について記録がなされている。
省察力	授業での自己の取り組みを、科学的な思考力の観点から客観的に振り返り、授業でできなかったことや次の授業での目標・課題について自ら見出し、記録している。	授業での自己の取り組みを、振り返り記録している。

自己評価を行って気付いたこと・次の探究活動に向けての課題と目標な

